

＜第4回 前林地域会議 会議録＞

日 時 令和8年7月17日（金） 19:00～20:30
場 所 前林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 18名（欠席者2名）
事 務 局 酒井支所長、青井副支所長、松原副主幹、山口書記
オブザーバー 日當市議、石川市議、長谷川交流館長

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

以下について、事務局から説明

- （1）第3回前林地域会議会議録について
- （2）商業機能の強化及び地域の身近な交流拠点を生かした地域の活性化促進事業の進捗について
 - ①夏休みの小学生向け「あそび場開放事業」の実施について
 - ・ 8月19日と26日に開催するふらここマーケット連動企画のチラシを8月初旬に自治区回覧
 - ・ 7月の自治区回覧で支援員を募集したところ3件の応募があった。地域会議委員の中で支援員登録をした方が数名おり、常時2名以上の配置で事業を実施できる見込みである。
 - ②中学生向け「自習スペース開放事業」の支援員募集チラシについて
 - ・ 支援員募集チラシを8月初旬に自治区回覧
 - ・ 前林中学校のコミュニティスクール連絡会議に出席し、こどもの居場所づくり事業等、今年度の前林地域課題解決事業について情報を共有
 - ・ 地域会議委員の一人が、自身が運営するふれあいサロンを夏休みの小学生向けの居場所として開放する取組を始めることを情報提供
- （3）安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について
 - ①前林キッズチャレンジフェス（交流館主催）への交通安全ブース出展について
 - 8月29日（土）に前林交流館で開催される前林キッズチャレンジフェスに高岡支所ブースを出展。JAFと連携した交通標識ビンゴやゲーム感覚で学ぶ交通安全クイズの実施を予定している。
- （4）災害に強いまちづくり事業の進捗について
 - ①第1回前林地域防災体制に関する合同会議開催報告
 - 6月26日（金）に前林交流館で各自治区自主防災会会長や消防団、地域

会議会長・副会長らが出席。市防災対策課職員が自主防災会と消防団の連携についての説明をした後、意見交換を行い、消防団との役割を明確にする必要があるなど、課題を共有した。

(5) 高岡 4 地域合同事業の進捗について

①世界ラリー選手権を生かした交通安全啓発事業の進捗について

・マイタウンおいでん高岡出展実施報告

6月20日(土)に開催されたマイタウンおいでん高岡にラリーの周知と交通安全啓発に関するブースを出展、ラリーカーと綱引き、交通安全ドリルを実施し、150人が参加。(全体の来場者数は2,500人。)

<委員から質問>

報告事項(2)について、事業名がたくさん出てきてわかりづらい。チラシ記載の事業名も同じ地域課題解決事業なのに異なっているので、混乱しないようにチラシと会議資料の記載を統一するなりして整理してほしい。

<事務局から回答>

(2)の事業については一つの事業が細分化されており、後から事業名を追加したものもあるためわかりづらくなってしまった。わかりやすいように整理していく。

<委員から質問>

地域の団体等が自主的に居場所づくりをする際に、市から支援を受けたい時はあらかじめしっかりと計画を立てて実施していく必要があるのか。

<事務局から回答>

市からの支援を受けて実施するのであれば、予算の関係や支援員登録の関係、支援員の保険加入等様々な準備が必要なため、早い段階で計画を立てて相談してほしい。

3 協議事項

(1) 前林地域課題解決事業の令和9年度取組案について

事務局より令和9年度取組案について説明

<委員から質問>

青色回転灯をつけた車両による防犯パトロールについて、これは決まった日時に活動し、報告するのか。また、青色回転灯をつける費用はどのように捻出するのか。

<事務局から回答>

パトロールする日は、毎週何曜日というように自治区が決めている。青色回転灯の購入に関しては、自治区活動備品補助金を利用できる。

<委員から質問>

各事業は長期間実施しており、各年度のゴールがよくわからない。令和 8 年度の着地点、これだけの課題を持って令和 9 年度に進んでいくというようなゴールはあるのか。

＜事務局から回答＞

これまで実施した事業については先月配布した資料に記載しているが、年度をまたいで実施したり、事業によってはかたちを変えて実施したり、様々な形態で継続している。質問のとおり、1 年後のゴールが明確に示せていないので、今年度のこの事業は最終的にどこを目指しているというところを整理して、提示できるようにする。

(2) 前林地域防災運動会について

防災運動会について、以下 2 点をグループワーク（30 分間）

課題 1 参加形式と選手の選出について

当初計画では 11 自治区対抗としているが、事前に選手を決めるのは自治区への負担が大きい。自由参加にした場合、集客が少ない可能性や、参加者が特定の自治区にかたよる可能性がある。

▶グループワークで話し合ってほしいこと

「自治区対抗」の熱気を残しつつ、負担を減らす方法はないか。

例) 事前に選手を確定する種目は 2 種目程度にする。残りの種目は自由参加にする。

課題 2 一部または全部を自由参加形式にした場合の防災競技のアイデア

現在の競技案は事前に選手の選出が必要な競技が多い。自由参加にした場合、どのような競技が盛り上がり、こどもも楽しめるか。

▶グループワークで話し合ってほしいこと

自由参加競技の案。小学生のこども達が楽しみながら防災について学べるような競技があると良い。

例) 防災○×クイズ

【発表】

Aグループ

課題 1

選手選出については、自治区回覧で募集する。回覧で集まらなければ役員や組長、各種団体に的を絞って直接お願いする。

課題 2

○×クイズ、簡易ベッドやトイレの組み立てで時間と正確さを競う競技、車いすの自走リレー

Bグループ

課題 1

- ・人集めが難しいので対抗競技は少なくした方が良い。人数の少ない自治区もあるので、11自治区を3～4ブロックに分けてチーム分けをする。
- ・天候に関係なく実施できるよう、体育館で開催する。その場合はバケツリレーを水ではなく紙切れやボールで実施する。また、競技を段ボールベッドの組み立てや新聞紙スリッパ作成等、室内でできるものにする。
- ・担架リレーをやる際は人を運ぶのではなく、米やみかん箱を運ぶようにして、それを景品にする。

課題 2

防災クイズ、防災かるた取り、借り物競争など

Cグループ

課題 1

- ・防災は隣同士の共助が大切なため、自治区対抗で自主防災会を中心として人を集める形式が良い。
- ・競技ごとの人数は決めず、例えば距離や量を決めて、選手の人数は自治区に任せ、自由度を高める。

課題 2

全員参加の防災○×クイズ、前林中学校の校舎を使った煙道体験

Dグループ

課題 1

- ・子ども会、ジュニアクラブに回覧し、参加者を募集する。
- ・炊き出しや景品があることをPRして参加者を募る。

課題 2

- ・水消火器による的当て体験（参加人数が多ければ自治区対抗とし、少なければ自由に実施してもらう）、防災○×クイズ
- ・はしご車の乗車体験
- ・昨年度、若林地域で実施した防災フェスタのネタを応用する。

★次回開催 8月21日（金） 午後7時～ 前林交流館